

いままでの歴史

新聞をななめ読み、週刊誌を読み飛ばし、倍速モードでニュースを見れば、よくわかる、すぐわかる、最近の歴史。

【報道】

復讐の対象者の起業までがニュース
いつまでもヒーローはマルコムX

アメリカの黒人の中で英雄といえは、マイケル・ジョーダンでもジョージ・フォアマンでもない。今でもやはりマルコムX。彼の軌跡は数年前映画化されて日本でもその名が知れるようになったが、彼亡き今日でも黒人のほとんどは、彼を崇拜しているという。

昨年マルコムXの娘が、彼の暗殺を示唆したといわれる黒人団体「イスラム国家」の指導者ルイス・ファラカーンの命を狙ったという話題が一流誌の一面を飾ったのがその証拠。

さらに今年に入つては、命を狙われたファラカーン自身がシカゴにオープンしたレストランのことすら「マルコムXの娘に命を狙われたファラカーンがレストランをオープン」などと報道される始末。ちなみにこのレストランは、多国籍料理を売りにしているのだが、ファラカーンがイスラム教徒なので、豚肉は一切使われていないらしい。が、ココが流行らなかつたら、豚肉入り「マルコムランチ」が登場すると巷ではもつぱらの噂だぞうな。



彼らのヒーローは永遠である。

【事件】

事実がすぐけりや虚構は引つ込む
政情不安のアルジェリアの実態

推理小説は「〇〇殺人事件」と付けるだけで、その売れ行きがかなり違うといわれている。日本人は平和ボケだが、そんなタイトルをつけても殺人が当たり前過ぎる。一冊も売れない国が世界には数多い。特にアルジェリアでは、今年に入ってから車に仕掛けられた爆弾で四十二人が死亡したのははじめ、首都アルジェで起きた刑務所の暴動では、政府軍の鎮圧作戦で八十人が命を落とされている。

3年前にクーデターで軍が政権を掌握したアルジェリアは、確かに政情不安定な国ではあるものの、たった数カ月でこの死亡者の数は尋常ではない。さらに驚くのは、これまで治安当局とイスラム過激派との衝突やテロの被害にあつて死亡した人数が一万五〇〇〇人を優に越えているという。こんな国では推理小説はおろか、小説自体読む人がなくて当たり前というものだ。だからといって殺人事件の推理小説を読むな！といった訳ではないが、あくまでも日本が平和だから読めるのだということをお忘れなく。

【社会】

調査力と決断力と行動力は超一級
課題は文章表現のグリーンピース

環境問題が世界的に注目されている現在、最も目の仇にされるのが核だろ。現確かにその危険性は計り知れないが、現代社会においては燃料として重要な役割を果たしているのも、また確かなことだ。だから、この場で簡単に核使用の賛否を述べることは難しいが、はっきりと反対の意志を示す環境保護団体グリーンピースの動きは相変わらず一見の価値がある。

内閣総理大臣殿、この決断力と行動力を見習い、すべきことをして下さい。

最近では核のゴミを積んだ輸送船パシフィック・ビンテール号がその標的となされたことが、このときも輸送ルートは一切公表されていないのに、どこでどう調べたのか、この船のフランス・シエルプベール港への入港日にグリーンピースは出沒。入港を阻止しようと試みたのである。結果的には、フランス海軍が出動して阻止は失敗したが、その情報網と海軍とも渡り合う行動力には「ここまでやるか？」と思わずいいなくなるほど。

ただ、ビンテール号を「地獄から来た輸送船」と呼ぶセンスはいただけない。環境問題はB級ホラーじゃないんだから。





どかんと 江戸の町

どくんと映画村のでっかい江戸の町。ここではテレビ時代劇番組の撮影が行われています。また、模擬撮影やロケーションスタジオショーでは撮影風景を再現してお楽しみいただけます。

江戸の町の各ゾーンはテレビでおなじみのスポットがいっぱい。休日は映画村で時代劇スターのもりで、ごゆっくり。



映像の世界は面白、びっくり。

東映太秦映画村

京都市右京区太秦東蜂ヶ岡町10 ☎075-864-7716
 催しものガイド ☎075-864-7788

【スポーツ】

体重は水増しできても身長は……
大相撲新弟子検査の悲喜(こも)

格闘型プロスポーツは、基本的に人並以上に強ければプロ選手になれる。が、大相撲だけは例外。いくら強くても新弟子検査で基準以上の身長、体重をクリアしなければ関取はおろか、相撲部屋に入門すらできないのだ。

だから、基準値に達していない入門志願者たちはあの手この手を使って新弟子検査を受けるのだが、その方法がなかなか奇抜で面白い。

のぼしたこの首が肩の筋肉に埋もれるころ、彼は一人前の関取になるのかな。



たとえば、検査直前に水を1升飲み干して基準体重をクリアしようとする「体重水増し」。体重はこれでたいいなんとかなるが、問題は身長はほう。残念ながら、いくら食べても飲んで背だけ伸びない。

これだけはどうにもならないだろうと思っていたら数年前、舞の海が頭皮にシリコンを生めるという荒ワザをあみだし、世間のと肝をぬいたのである。が、残念ながら(?)この方法も体に危険といっことで昨年禁止に。

これで身長はこまかせないと思つたら、今年は山下(二所ノ関部屋)がギブスで首をのぼすという涙モノの裏ワザを使い検査を見事クリア。

来年の新弟子検査ではどんな涙と笑いの奇手奇策が飛び出すのか、担当の親方は今から楽しみなのだぞつな。

【予知】

やはり基本は身の回り
北朝鮮の地震予知方法

あの阪神大震災以来、国内外を問わず研究が盛んになったのが地震予知。日本では断層の動きをミリ単位に計測する方法など、ハイテク技術を駆使した予知技術の開発が行われているが、北朝鮮ではちよつと変わった予知方法を研究、国民に実践するように指示しているという。

その方法とは、なんと牛や豚を観察すること。具体的には、「牛、犬、豚などの家畜がエサも食はずに外にでようとする」「冬眠していたヘビが地上へ出てくる」などその兆候が数項目列挙されたものを参考に、地域の自然の観察をおこなうといったもの。あとは日々観察を行い少しでも該当箇所があった場合、大地震の兆候アリとして通報するというシステムらしい。

一見、原始的な方法に思えるが、結構ハイテクより予知率は高いかも知れない。なぜなら阪神大震災の直前に普段と違う様な自然現象が起きたことが報告されているからだ。災害予知の基本は、やはり常に周囲の自然を見つめることが第一。

【休日】

またまたできた祝日「海の日」
 でも由来に説得力つーモンが

来年から、祝日が一日増えるという。その日は7月20日。祝日の名は「海の日」という。こんな名前だから、国民がこぞって青春時代を思い出しては、「バカやろー」とか言いながら、海へ向かって石でも投げる日なのかと思つていたらさにあらず、実際にはかなりお堅い意味がその日にあるらしい。

その意味とは「海の恩恵に感謝し、海洋国家日本繁栄を願う」というもの。ちなみに祝日として選んだ7月20日は、明治天皇が北海道から横浜まで航海した日なのだとか。相も変わらず国が決める祝日の名目や選定理由は、味もそつてもありやしない。せつかく「海の日」と名づけたのだから、もつと柔らかな頭で、その日には「最愛の人と海へ出かけ、海で語らう」みたいな名目を考えられなかったのだろうか。まあ日本の国家は、昔から休日といえは「繁栄と感謝」ばかりにするのが好きだから仕方がない。

とりあえず、祝日が増えるのは嬉しいことだが、サラリーマンや学生にとっては、夏期休暇前の7月より、これといって休暇のない6月に休みができたほうがありがたかつたのでは。